

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①基礎的・基本的知識や技能を身につけるとともに、学んだことを活用する力を向上させるために、自分の思考の過程や課題を解決する力を育て授業づくり（ICT）、ノートづくりを推進する。
- ②家庭での学習習慣の定着を図り、学力の向上を図る。

松茂中学校
「学力向上実行プラン」

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 城所 克弥	委員 学校長：櫻間伸章，教頭：田村浩志・中野敬司， 教務主任：橋本拓也，3年主任：森田百合子， 2年主任：松下拓司， 1年主任：近藤尚佳，生徒指導主事：林朋史
-------------------------	--

校長

櫻間 伸章

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

【各校の取組状況の把握について】

授業改善・学習意欲向上班が、学期に1度の会議で検討しながら、取り組み状況の把握を行う。

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的知識・技能においては、徳島県平均レベルの力をもっている ●基礎的・基本的知識・技能を「活用」する力に大きな課題がある。	・学習の積み重ねを大切にし、小さなステップで学力の向上を意識することができる。 ・身につけた知識・技能を、他の学習や生活の場面において活用することができる。	・単元テストを導入し、小さなステップで学習したことをフィードバックさせるとともに、学力の定着を確認し、授業改善に生かしていく。 ・授業ごとに振り返りを行い、他の学習とのつながりなどを想起させる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○グループ学習が好きな生徒が80%近くおり、積極的に取り組むことができる。 ●一つ一つの知識を結びつけて、課題を解決したり、新たな考えを想像したりする力に課題がある。	・ICTなどを活用し、課題を解決する方法を考えたり、最適解を見つたりすることができる。 ・さまざまな知識を結びつけながら、課題を解決し、適切な言語活動により表現することができる。	・ICTを使用した授業に取り組み、校内で研修会をとる。(授業改善・学習意欲向上班の班員が行う) ・グループ学習を積極的に取り入れ、他の生徒の意見を取り入れながら最適解を見つけるような活動を行う。(STEAM教育)			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○一生懸命に授業に取り組む生徒がほとんどであり、家庭学習についても取り組むことができている。 ●自分で考えて学習する生徒は少なく、受け身で学習をしていることが課題である。	・教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・自分の学習状況をしっかりと振り返り、自らの課題を解決できるよう計画を立て、実践することができる。	・毎授業「課題」「まとめ」を明確に示す。 ・授業での「振り返り」を強化し、他教科との関連付けや実生活との結びつけを意識させる。 ・自主学習ノートに「めあて」の欄を設けさせ、自分がすべき課題を明確にさせる。			

令和5年度 学力向上ロードマップ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
学力向上検討委員会	学力向上実行プラン作成 学力向上通信① 全国調査・ステップアップテスト	学力向上通信②	学力向上通信③ 学力向上推進員研修	学力向上通信④	全国調査結果分析 プラン中間見直し	学力向上通信⑤	学力向上通信⑥	学力向上通信⑦	学力向上通信⑧	学力向上通信⑨	学力向上通信⑩	学力向上通信⑪	前年度の実績を踏まえた新体制でのプラン作成
授業改善・学習意欲向上班	【校内研修】 単元テスト ICT機器の活用	【校内研修】 振り返りの方法について	学び合いウォーク強化週間	ICT授業研修会		ICT授業研修会	学び合いウォーク強化週間	ICT授業研修会	生徒学習状況アンケート実施・分析	ICT授業研修会	学校評価アンケート実施・分析	次年度に向けた情報整理・素案の作成	